

制作上の注意点

1. 混ぜると剥離 絵の具は、ターナー色彩の「テントアート」だけを使ってください！

JAM のアートマイルキャンバス（ビニール系）に適合する水性アクリル絵の具は、ターナー色彩の「テントアート」だけです。

他の水性アクリル絵の具を混ぜると、絵の具が定着せずに、絵が剥がれてしまいます。

JAM に送られてきた絵の中には、他の絵の具を混ぜたために、その部分がボロボロと剥がれている作品が何点かあります。それらの作品は展示することができません。生徒の想いを大事にするためにも、他の絵の具を混ぜないように注意を守って下さい！

2. 絵の具は少量ずつ出して使いましょう！

「テントアート」は非常によく伸びる絵の具です。そのままで使えますが、水で少し薄めるとさらによく伸び、少量で広い面を塗ることができます。

絵の具はすぐに乾くので、パレットに出したままにすると乾いて使えなくなります。容器から直接絵の具をパレットに移すと、多量の絵の具が出て無駄になり、絵の具が足りなくなってしまうので、小さなスプーンで少しずつパレットに出して使いましょう！

提供している絵の具セットで壁画を描くのに十分な絵の具の量がありますが、使い方によっては絵の具（特に白）が足りなくなりますので、少量ずつ出して使いましょう。

3. 色の混色の指導をお願いします！

基本色から様々な色を作る指導をお願いします。

「白」の使い方に特に注意！ 薄い色を作るときには白に他の色を少量ずつ混ぜましょう。

例えば、水色を作る場合、青を出してから白を混ぜると、色を薄くするために大量の白が必要になり、最終的に白色が足りなくなります。白に少しずつ青を混ぜていきましょう。

4. 厚塗りはしないように！

厚塗りは絵のひび割れの原因となります。 展示のためキャンバスを折たたんだり広げたりする時に、ひび割れた部分が剥がれますので、厚塗りをしないようにご注意ください。

5. 絵の具は一旦乾くと取れません！

服に付いた絵の具は取れません。汚れてもいい服で描きましょう！

絵の具が付いた筆もそのまま放置すると筆が固まって使えなくなります。絵を描いている途中の筆は水につけておくと固まりません。使い終わった後は、しっかり洗いましょう。

6. キャラクター・五輪のシンボルを描かないでください！

著作権上の問題で、描くと美術館など公共の場での展示が出来なくなります。

描いてはいけない東京五輪関連のシンボル・用語があります。※別紙をご覧ください。

7. 完成後、絵をよく乾かしましょう！

絵が完成したら、3日間ほどキャンバスを広げて十分に乾かしましょう！

完成したら作品を広げたまま校内で展示するというのも良いアイデアですね。

8. 完成したら、裏にサインを忘れずに！

キャンバスの裏に制作者のサインを入れてください。描いた人全員がアーティストです。